

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号) 企業・団体名 (ニチアスセラテック株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) 【【非該当】を選択した場合こちらには理由記載】	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 (必須)			コンプライアンス綱領第3項「人権・人格の尊重」に従い、全従業員へ周知、定期的な教育(毎月)とアンケート(年2回)を実施し相談体制も整備している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 (必須)			コンプライアンス綱領第4項「ハラスメントの禁止」に従い、全従業員へ周知、定期的な教育(毎月)とアンケート(年2回)を実施し相談体制も整備している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 (必須)			就業規則及び36協定に明記し勤労管理システムにて管理している。またコンプライアンス綱領5項「強制、児童、債務労働」に明記しており上記同様周知している								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 (必須)			コンプライアンス綱領第3項「人権・人格の尊重」に従い、全従業員へ周知、定期的な教育(毎月)とアンケート(年2回)を実施し相談体制も整備している				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			期首に安全衛生計画を立案し管理をしている。また毎月安全衛生委員会を開催し、課題について討議し、改善、整備に取り組んでいる			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 (必須)			毎年ストレスチェックを実施、必要に応じて専門医に受診を促している。明るく働きやすい職場づくりをグループのスローガンとして推進している			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			コンプライアンス綱領第3項「人権・人格の尊重」に従い上記同様、周知している。また、育休制度、有給休暇取得推進など各休暇制度を推進し充実させてきている					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 (必須)			各教育訓練規定(総則、課内、安全、新人、粉塵、その他)を整備運用し計画的に教育を実施している				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 (必須)			賃金規定(雇用形態毎)、退職金規定、各種手当に関する規定を整備運用している					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			定期健康診断、保健指導を実施、従業員の健康維持及び評価を行っている。また毎朝のラジオ体操及び一人ひとりの体調確認をし、健康管理に配慮している			3					8									
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 (必須)			法令に従い廃棄物を処理している 廃棄物削減については環境委員会にて報告し進捗管理を行っている(目標産廃量2019年度対比2030年までに30%減)										11.6	12		14.1				
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 (必須)			各エネルギー使用量を月次で集計し、CO2に換算して温室効果ガス排出量を把握している							7.3					13					
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)			温室効果ガス排出量を把握し、省エネ目標を立て、環境委員会にて報告し進捗管理を行っている(目標CO2排出量2021年度対比2030年までに42%減)							7.2 7.3				12.4	13.3					
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 (必須)			PRTR法の有害化学物質の排出量を月次で集計し、歩留まり向上等で使用量抑制に取り組んでいる			3.9			6.3					11.6	12.4					

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合はこちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)			水、大気等を監視・測定・分析している。また原材料等は化学物質管理規程、グリーン調達規程に従い購入している。生物多様性としては今年よりニチアスグループとして「トンボ調査隊」イベントを開催、水環境に対する啓蒙活動を実施している						6.6									15		
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)			製造工程から排出される不良品等を再原料化(リサイクル)することで3Rを推進している												13		14.1			
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			地下水を含む水資源の利用状況を把握し、また再利用も含め効率的な利用に取り組んでいる						6.4 6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)			ISO14001を認証取得(2020.04)しており、環境委員会を毎月開催し報告し課題については改善に取り組んでいる			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)			ホームページの「サステナビリティ」にて公開している												12.6					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			当社表町工場にソーラーパネルを設置し電力を利用、2026年度は中野工場にソーラーパネル設置を計画している							7.2						13				
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			製造工程から排出される廃材等はリサイクルを行い資源の使用量削減に取り組んでいる また一部製品では製鉄所から排出されるスラグを原材料として使用している												12.2	13	14	15		
22	公正な 事業 慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			コンプライアンス綱領第17項「公正な購買活動」に従い、全従業員へ周知、定期的な教育(毎月)とアンケート(年2回)を実施している																16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			コンプライアンス綱領第13項「公正な事業競争」に従い、全従業員へ周知、定期的な教育(毎月)とアンケート(年2回)を実施している																16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)			コンプライアンス綱領第14項「他社・他人の財産の尊重」に従い、全従業員へ周知、定期的な教育(毎月)とアンケート(年2回)を実施している								8.2 8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 (必須)			コンプライアンス綱領第25項「個人情報の管理」に従い、全従業員へ周知、定期的な教育(毎月)とアンケート(年2回)を実施している																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ (任意)			原材料は紛争鉱物でないことを確認済 また、毎年取引先と協力しCMRT帳票により調査を実施																16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			ニチアスグループでは統一されたコンプライアンス、CSR等のルールを共有している。コンプライアンス綱領の周知や各強化月間等で活動に取り組んでいる					5		8		10		12	13	14	15	16	17	
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト： https://www.biz-partnership.jp/	基本 (必須)			★親会社であるニチアス㈱の「パートナーシップ構築宣言」(2025年5月1日更新)に基づく			3					8	9	10							17

[illegible]

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定